

(1) 青森県の医療的ケア児及びその保護者への福祉的な支援体制の強化に向けて

社会福祉学科 石田賢哉

1. 研究の背景

- 医療的ケア児は、医療・福祉・保健・教育等の多職種連携が不可欠である。
- 福祉支援体制の整備が義務付けられていたが、十分に対応できていない。

2. 目的

・青森県の医療的ケア児への福祉的支援を強化するための課題の抽出、制度的な改善点の提言を行なうこと

3. 研究方法

- 調査1: 医療的ケア児の保護者へのインタビュー
- 調査2: 福祉事業所管理者へのアンケート調査

4. 研究活動内容とその成果

調査1

対象... 同意の得られた医療的ケア児保護者5名

調査内容... 医療的ケア児の状況、現在のケアの内容、福祉サービスの利用状況、福祉ニーズについて、福祉サービスへの期待

結果... 相談援助の重要性、不十分な社会資源(社会資源につなぐプロセスの重要性)、セルフヘルプグループの重要性、育児不安軽減のための支援、生活支援に関するニーズは極めて大きい。

調査2

○対象... 同意の得られた112事業所(有効回答率68.3%)。

○受入れ実績のある事業所... 61事業所(55.5%)

○対応可能な医療的ケア... 服薬管理、口腔・鼻腔吸引、経管栄養等

○実際に行ったケア内容...
経管栄養、口腔・鼻腔吸引
気管切開からの吸引等

○受入れられなかった理由...

申込みがない、受入れ経験がない、設備不足、職員の不足等

○受入れの課題...

物理的環境、スタッフ不足等

5. 今後の展望

引き続き医療的ケア児の保護者にヒアリングし、福祉サービスの活用について聞き進めたい。また、受け入れ実績のある事業所の管理者、職員を対象に、工夫していることや医療連携等を中心にヒアリングをおこなう。